

## 特徴

本製品は物理吸着タイプのポリスチレン粒子セットです。

- ・ 100,200,300 nm の 3 粒径セット
- ・ ラテックス凝集試薬の初期検討や、粒径スクリーニングに最適

## 製品仕様

品名	P100	P200	P300
粒子径	100 nm	200 nm	300 nm
内容量	1 mL		
Lx 濃度	10 %		

## 使用例

物理吸着法によるラテックス粒子感作

### 1. 【 材料 】

- ◆ポリスチレンラテックス粒子（10 wt%品）
- ◆感作バッファー；10 mM HEPES (pH 7.0)  
50mM リン酸やホウ酸、グリシン溶液などでも可、pH は 6~8 の間が望ましい
- ◆抗体 ；精製抗体 /PBS(出来る限り 3mg/mL 以上が望ましい)
- ◆ブロッキング液；1 wt% BSA/10 mM MES(pH 6.5)
- ◆試薬保存液；0.1wt%BSA、10 mM HEPES(pH 7.0)、

3%スクロース、0.09%NaN<sub>3</sub> etc.

### 2. 【 抗体感作例】

- 1 ) マイクロチューブに 10%ラテックス原液 50 μL、感作バッファーを 950 μL 加え、0.5wt%に希釈する (5 mg/mL)。
- 2 ) 表 1 を参考に抗体を適量添加して超音波装置で分散し、1 時間混和する(室温)。
- 3 ) 表 1 を参考に遠心して上清を除く。
- 4 ) ブロッキング液を 1mL 加え、超音波装置で再分散後、遠心上清を除く(未吸着抗体の除去)。
- 5 ) ブロッキング液を 1mL 加え、超音波で再分散後、1 時間混和する(室温～50°C)。
- 6 ) 遠心して上清を除く。
- 7 ) 試薬保存液に試薬性能が得られるラテックス濃度となるように分散する。

※抗体感作ラテックスの調製量を変更する場合、最適抗体量、遠心時間を適宜ご調整下さい。

表 1

粒子径	100 nm	200 nm	300 nm
添加抗体量 (0.5wt%1mL)	0.7 mg	0.4 mg	0.3 mg
遠心条件	20,000G (15,000rpm)	20,000G (15,000rpm)	20,000G (15,000rpm)
遠心時間	1 時間以上	約 30 分	約 20 分

※上記の表は粒子の表面積に基づいて算出しており、数値は目安であることをご承知おき下さい。

## 注意事項

- ・保管条件  
2~30°C (1週間程度) / 2~8°C (長期保管)、凍結禁止
- ・ご使用前によく混和して下さい。
- ・本製品は研究用試薬ですので、研究用以外の目的には仕様しないで下さい。
- ・製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
- ・製品の使用にあたっては、用途に対する法規制及び用途への適合性、安全性等をご確認下さい。
- ・本製品は防腐剤としてアジ化ナトリウムを含みますので、廃棄の際は大量の水とともに洗い流して下さい。

## <製造元>

藤倉化成株式会社 メディカル材料部  
〒340-0203 埼玉県久喜市桜田 5-13-1  
TEL: 0480-57-1155 FAX: 0480-57-1156  
HP: <https://www.fkkasei.co.jp/>